

米国 4ヵ月連続で大幅減（08年11月製造業受注）

発表日：2009年1月7日（水）

～在庫率は急上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛（おおみさわ たけし）

03-5221-4526

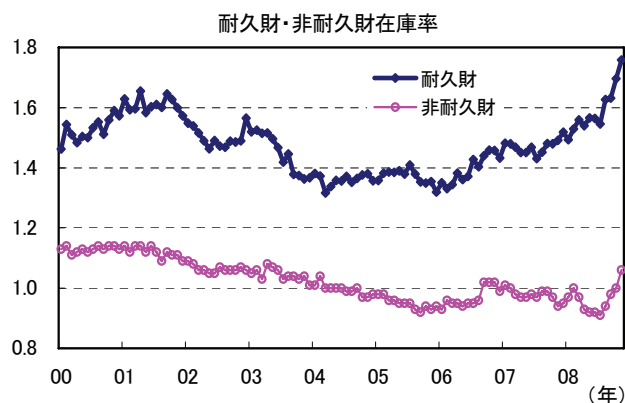
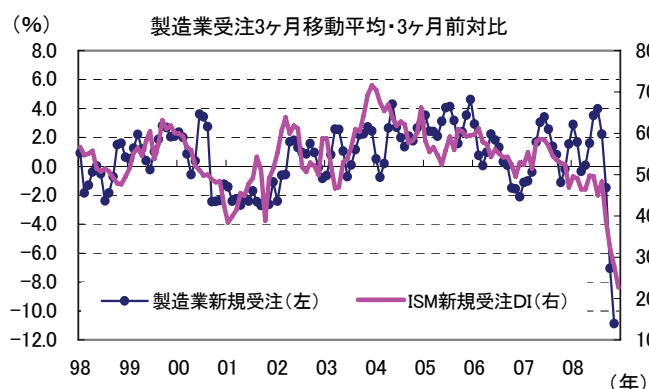
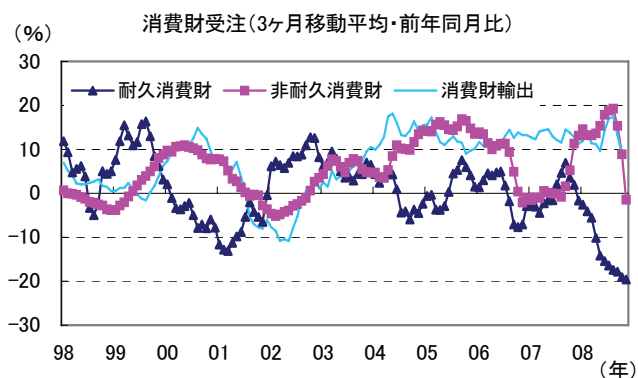
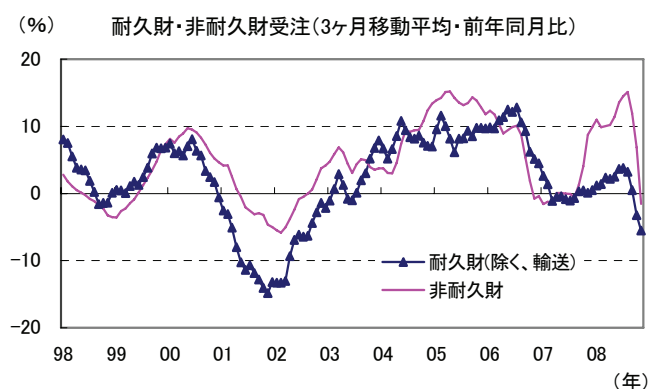
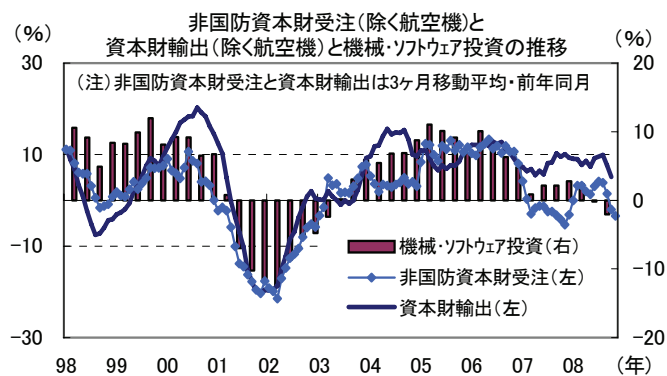
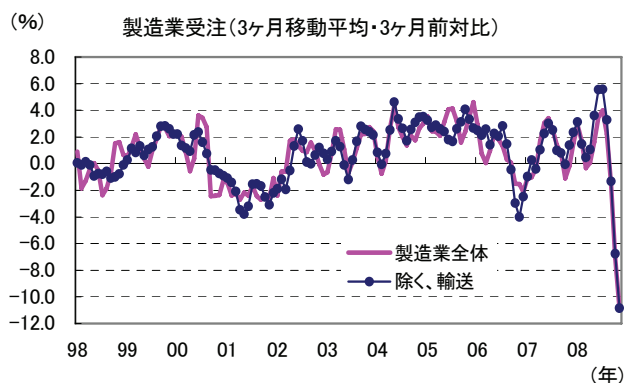
- 11月の製造業受注は前月比▲4.6%（前年同月比▲12.2%）と、世界的な景気減速による内外需要の減速と国際商品価格の下落により4ヵ月連続で大幅な減少となった。前月比で4ヵ月連続減少となるのは、92年の統計開始以来初のことである。変動の大きい輸送機器を除くと、前月比▲4.2%（前年同月比▲9.1%）、前月同▲5.1%（同▲3.3%）と、こちらも4ヵ月連続で大幅な減少となった。耐久財、非耐久財について、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で基調をみると、耐久財は▲9.5%（前月▲7.4%、前々月▲2.1%）、非耐久財は前月比▲12.1%（前月▲6.8%、前々月▲0.9%）と共に減少ペースが加速している。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比+3.9%（前年同月比▲2.5%）と前月同▲6.7%（同▲6.1%）から増加に転じた。前月の大幅な減少の反動とみられ、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で基調をみると▲7.9%（前月同▲5.9%、前々月同▲1.3%）と減少ペースは加速している。このため、09年1－3月期にかけて機械・ソフトウェア投資はマイナス幅の拡大が予想される。
- 耐久財受注を財別にみると、一次金属が前月比▲2.7%（前月同▲16.3%）と需要減と金属価格の低下により4ヵ月連続で減少。加工金属が同+0.3%（同▲2.9%）、機械が同+2.4%（同▲11.2%）、コンピュータ・電子製品が+6.0%（同▲4.9%）とプラスに転じたが、何れも前月までの大幅な減少の反動とみられる。電気製品・同部品が同▲1.8%（同▲10.2%）、と価格低下と販売不振により受注が減少、輸送機器は同▲7.6%（同▲12.8%）と非国防航空機・同部品の受注が大幅に減少した影響が大きい。家具・同関連製品は同▲3.0%（同▲6.8%）と住宅販売の不振、消費減速を背景に低迷が続いている。
- 出荷、新規受注が急速に減少していることから耐久財、非耐久財とも在庫率の上昇が続いており、今後、生産調整が深まることが示唆される。
- 今後の製造業受注だが、12月のISM製造業指数の新規受注指数が22.7と過去最低水準まで低下を続けていることから、足元で新規受注が急減速しているとみられる。1－3月期にかけても雇用環境の悪化や消費者マインドの悪化、個人向け融資基準の厳格化を背景とする深刻な消費の低迷と企業収益、企業マインドの悪化による設備投資意欲の後退に加え、海外経済の減速による輸出受注の鈍化により、製造業受注は前期比マイナスが続くと予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業		非国防資本財	製造業		非国防資本財				製造業		非国防資本財
	除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	
07/12	▲0.6	▲0.4	+1.1	+1.9	(+5.7)	+0.6	(+5.4)	+4.5	(+0.2)	+0.8	+0.5	+0.4
08/01	+1.1	+0.7	▲0.4	▲2.4	(+7.3)	▲0.4	(+8.1)	▲0.8	(+5.0)	+1.3	+1.3	+0.5
08/02	▲1.9	▲1.6	▲1.3	▲0.4	(+5.1)	▲1.6	(+5.3)	▲0.9	(+4.5)	+0.6	+0.5	+0.6
08/03	+1.1	+1.9	+0.8	+1.5	(+4.2)	+2.6	(+6.9)	▲1.0	(+0.1)	+0.9	+0.8	+1.3
08/04	+2.7	+2.9	+1.0	+1.3	(+4.0)	+2.8	(+8.1)	+3.1	(+1.3)	▲0.0	▲0.2	+0.4
08/05	+0.3	+0.9	+0.2	+0.9	(+5.4)	+0.8	(+7.9)	▲0.3	(+2.5)	+0.6	+0.5	+0.1
08/06	+1.9	+1.9	+0.6	+2.1	(+7.5)	+2.7	(+12.1)	+1.6	(+5.5)	+1.2	+1.3	+0.5
08/07	+1.4	+1.3	+0.3	+0.7	(+4.7)	+0.5	(+10.0)	+0.3	(+4.3)	+0.6	+0.5	+0.6
08/08	▲3.7	▲3.1	▲2.1	▲4.3	(+3.9)	▲3.6	(+8.2)	▲2.3	(+1.6)	+0.7	+0.7	+0.7
08/09	▲3.1	▲3.8	+1.7	▲3.1	(+0.9)	▲4.3	(+3.1)	▲3.4	(▲1.7)	▲0.8	▲0.9	+0.1
08/10	▲3.6	▲3.4	▲3.7	▲6.0	(▲6.3)	▲5.1	(▲3.3)	▲6.7	(▲6.1)	▲0.6	▲1.0	+0.3
08/11	▲5.3	▲5.5	▲0.2	▲4.6	(▲12.2)	▲4.2	(▲9.1)	+3.9	(▲2.5)	▲0.3	▲0.9	▲0.1

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。○内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。